

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる可能性があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

ポスト口に、ホースなどで直接水をかけないでください。
内部の郵便物が濡れるおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。
ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

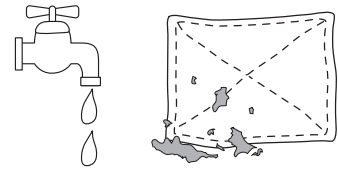
お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1 表面のホコリ・砂を落とす

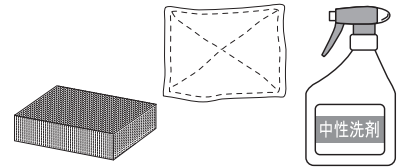
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

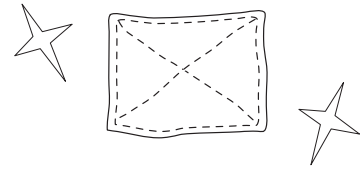
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

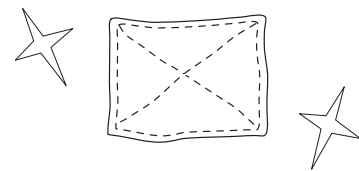
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■結露・雨水などがかった場合

1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

■下枠・レールのお手入れ

1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

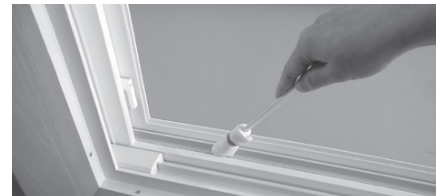


または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 汚れをふき取る

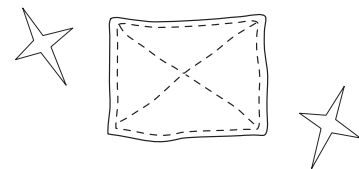
割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



■土間引戸の下枠レール間に水がたまった場合

1 水分をふき取る

下枠に水がたまった場合は、乾いた布で水分をふき取ります。



お願い

時間が経つと水は流れていきますが、気になる場合は、ふき取ってください。

網戸（ネット部分）

● 網戸の取りはずし方・取り付け方は、P.247～P.297を参照してください。

1 ネットを水洗いする

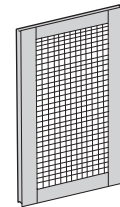
ネットがはずれないように柔らかいブラシやスポンジで軽く押さえるように水洗いします。

※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

水分を十分にふき取り、乾燥させます。

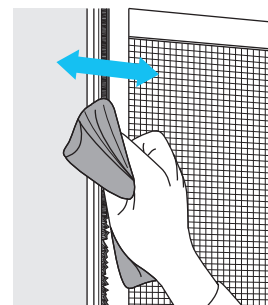


網戸（モヘア部分）

1 モヘア表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布や柔らかいブラシに水を浸し、モヘアの毛並みに沿うように水洗いします。

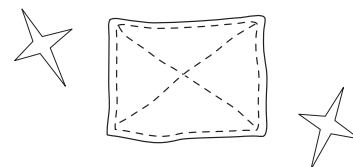
※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

モヘアの毛並みに沿うように水分を十分にふき取り、乾燥させます。

※モヘアが毛束になっている場合は、毛束をほぐしながら水分をふき取ります。



スライド網戸

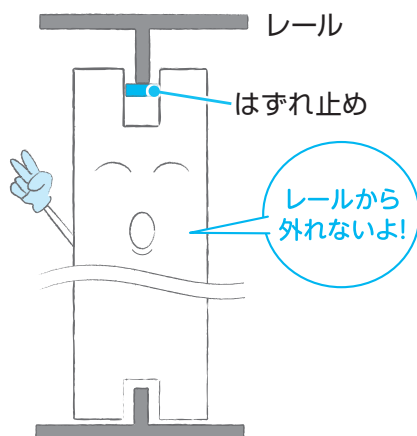
はずれ止めとは

はずれ止めは、強風などで網戸が脱落、落下するのを防止するための部品です。
網戸をはずす時以外は、必ずはずれ止めをセットしてください。

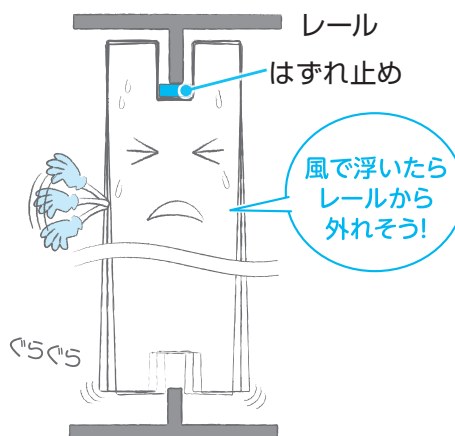
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

はずれ止めがセットされた状態



はずれ止めが解除された状態

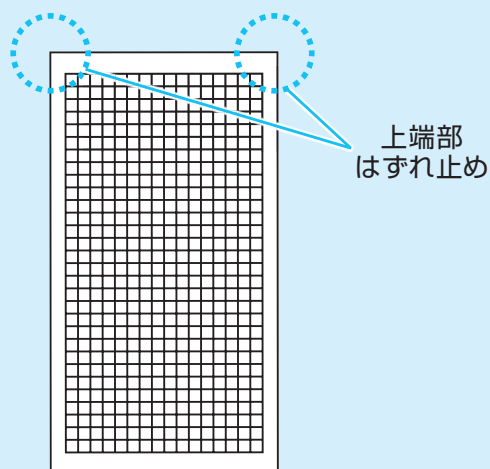


※はずれ止めの形状は商品によって多少異なります。

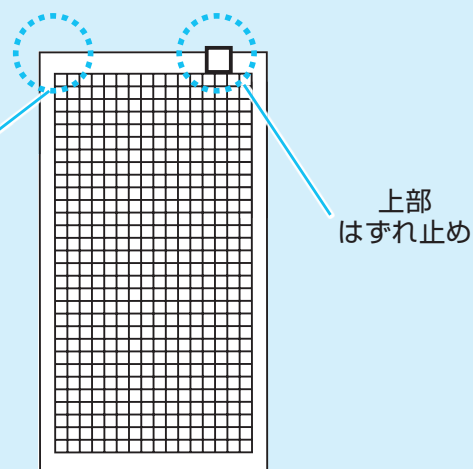
- ・引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓（上端部はずれ止め）→P.242
- ・両袖片引き窓（上部はずれ止め）→P.245

- 引違い窓と片引き窓の網戸のはずれ止めは、上部両端にあります。
- 両袖片引き窓用の網戸のはずれ止めは、上端部と室内側にあります。（APW511用を除く）

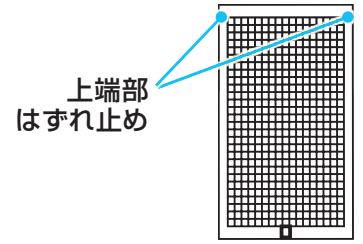
・引違い窓、片引き窓の場合



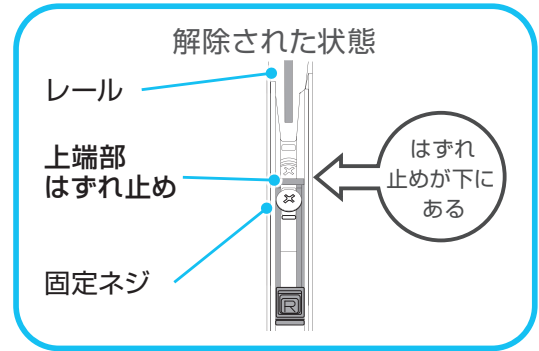
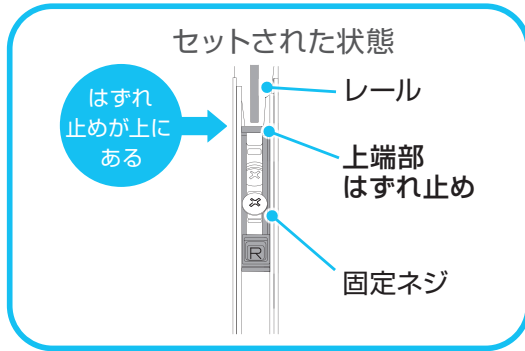
・両袖片引き窓の場合



網戸のはずれ止めのセット方法 (引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓)



両袖片引き窓は、室内側に上部はずれ止めが付いています。
(APW511用を除く)
両袖片引き窓 → P.245

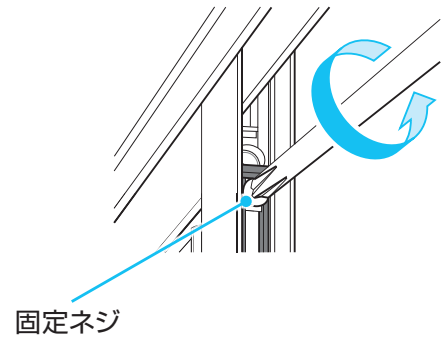


1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで上部はずれ止めの固定ネジを反時計回りに1回転まわしてゆるめます。

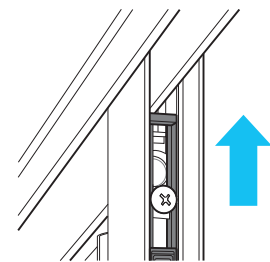
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。網戸内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



2 上部部はずれ止めを上げる

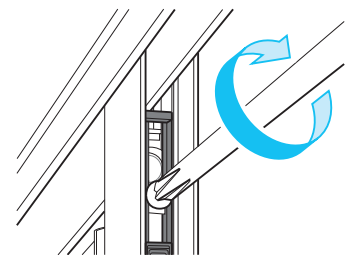
上部はずれ止めを一番上まで上げます。



3 固定ネジをしめる

固定ネジを時計回りにまわし、ゆるまないようにしっかりしめます。

網戸が動かしにくい場合は、手順1~3を繰り返し、上部はずれ止めを少しずつ下げてください。



4 もう一方の上端部はずれ止めをセットする

手順1～3を行って、もう一方の上端部はずれ止めをセットします。

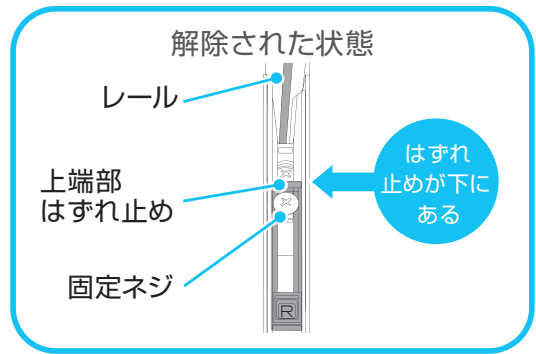
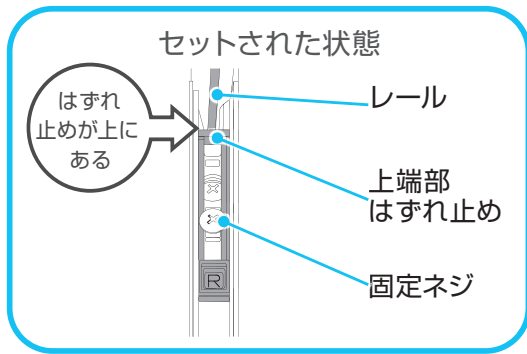
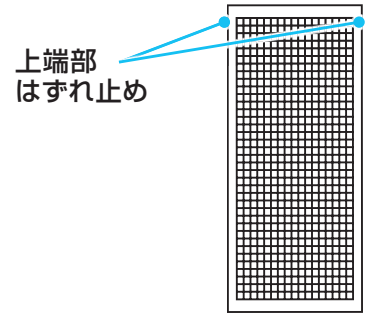
※両袖片引き窓の場合→P.245「網戸のはずれ止めのセット方法（両袖片引き窓）」

5 網戸がはずれないことを確認する

網戸を持ち上げながら内外にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。

網戸のはずれ止めの解除方法 (引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓)

両袖片引き窓は、室内側に上部はずれ止めが付いています。
(APW511用を除く)
両袖片引き窓 → P.246

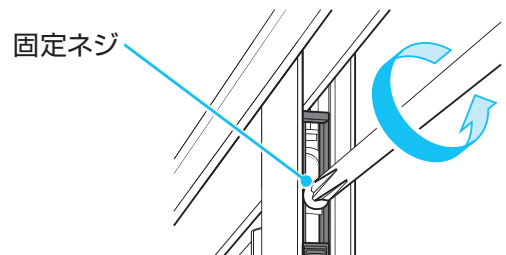


1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで上端部はずれ止めの固定ネジを反時計回りに1回転まわしてゆるめます。

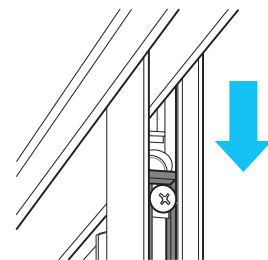
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。網戸内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



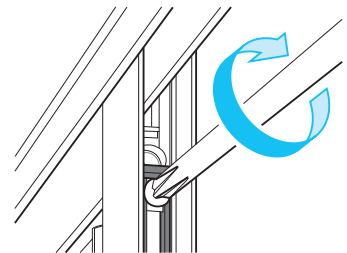
2 上端部はずれ止めを下げる

上端部はずれ止めを一番下まで下げます。



3 固定ネジをしめる

固定ネジを時計回りにまわしてしめます。



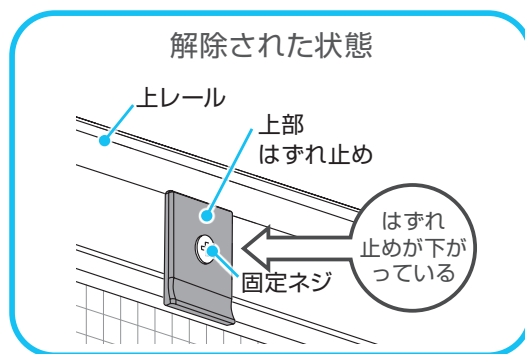
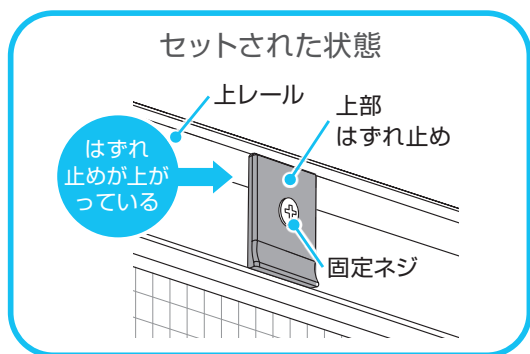
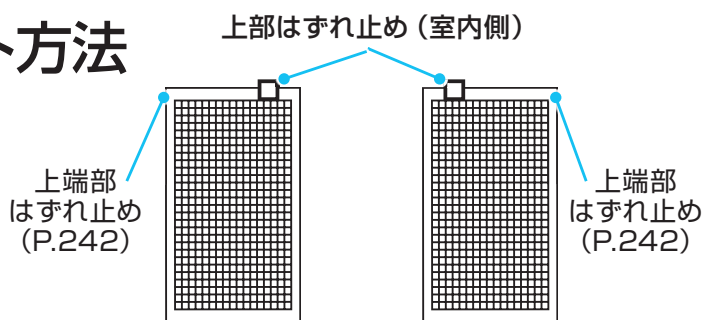
4 もう一方の上端部はずれ止めを解除する

手順2～4を行って、もう一方の上端部はずれ止めも解除します。

※両袖片引き窓の場合 → P.246「網戸のはずれ止めの解除方法 (両袖片引き窓)」

網戸のはずれ止めのセット方法 (両袖片引き窓)

両袖片引き窓用のスライド網戸の場合、室内側に上部はずれ止めが付いています。(APW511用を除く)

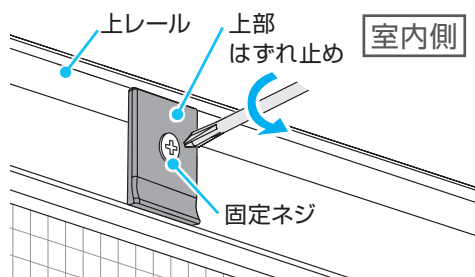


1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで上部はずれ止めの固定ネジを反時計回りに1回転まわしてゆるめます。

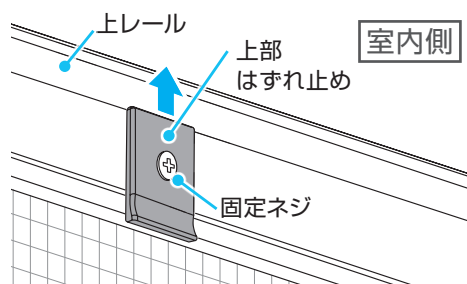
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



2 上部はずれ止めを上げる

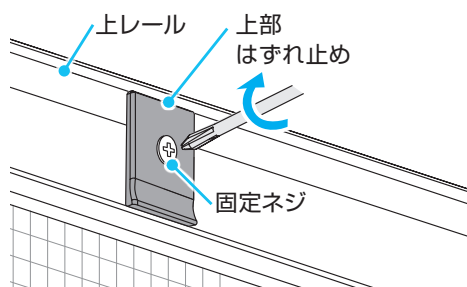
上部はずれ止めを開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げます。



3 固定ネジをしめる

プラスドライバーで上部はずれ止めの固定ネジを時計回りにまわして、ゆるまないようにしっかりしめます。

※上端部のはずれ止めのセット方法は引違い窓の場合 (P.242) と同じです。

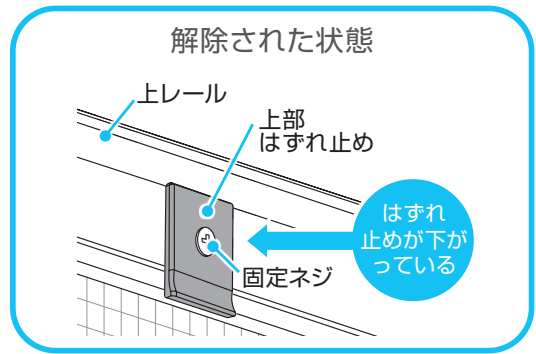
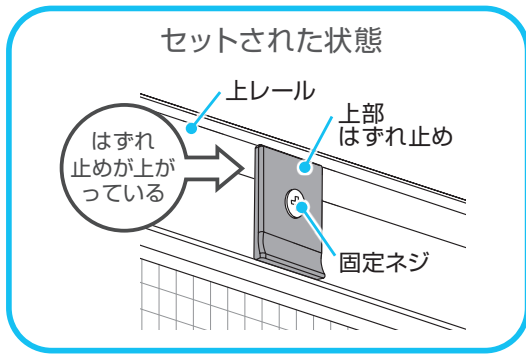
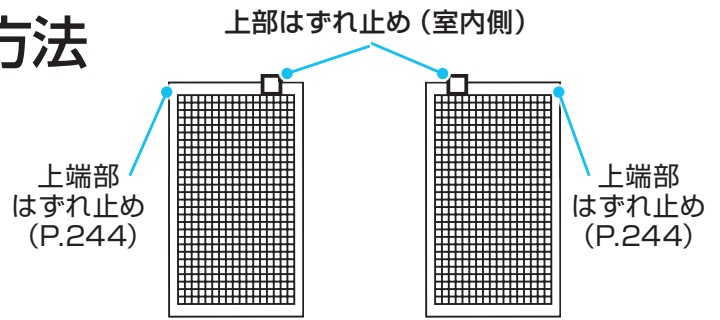


4 網戸がはずれないことを確認する

網戸を持ち上げながら内外にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。

網戸のはずれ止めの解除方法 (両袖片引き窓)

両袖片引き窓用のスライド網戸の場合、室内側には上部はずれ止めが付いています。(P.244) (APW511用を除く)

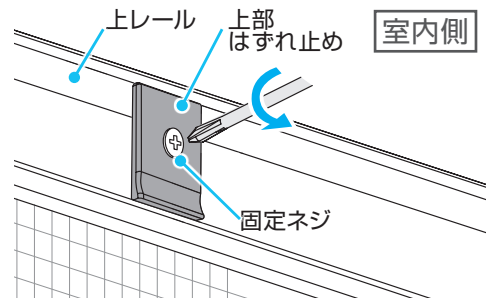


1 固定ネジをゆるめる

プラスドライバーで上部はずれ止めの固定ネジを反時計回りに1回転まわしてゆるめます。

お願い

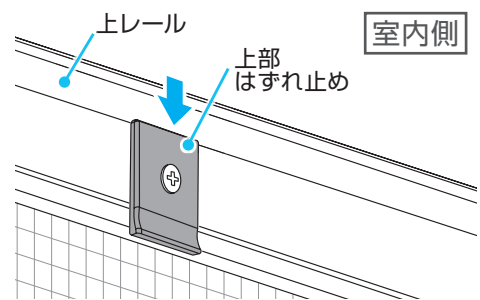
- ネジは絶対にはずさないでください。部品が落下するおそれがあります。



2 上部はずれ止めを下げる

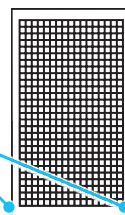
上部はずれ止めを一番下まで下げます。

※先端部のはずれ止めの解除方法は引違い窓の場合 (P.244) と同じです。



網戸の取りはずし方

ツマミ
(室外側)



ご使用前に確認してください

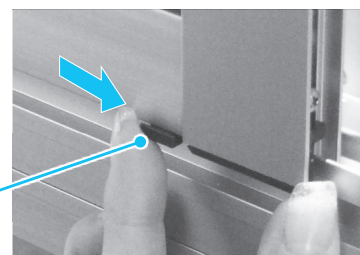
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 脱輪防止機構を解除する

室外側にあるツマミを矢印方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせます。

※脱輪防止機構が解除されます。

ツマミ
(室外側)



2 はずれ止めを解除する

各部のはずれ止めを全て解除します。

※引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓（上端部はずれ止め） → P.244

※両袖片引き窓（上部はずれ止め） → P.246

3 網戸をはずす

網戸を両手で持ち上げ、網戸を室外側に押し出して下のレールからはずします。



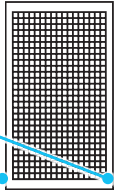
4 網戸を取り込む

室内側に網戸を取り込みます。



網戸の取り付け方

戸車ボタン



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 取り付け前の確認をする

取り付け前に各部の状態を確認します。

※各部のはずれ止めが全て解除されていることを確認します。→P.244、P.246

※戸車のローラーが出ていないことを確認します。→P.247

※下のレールに小石などの異物がないことを確認します。

2 網戸を室外側に出す

網戸を室外側に出します。



3 網戸を取り付ける

網戸を上レールに合わせて押し上げ手前に引いて下レールにのせます。



4 はずれ止めをセットする

各部のはずれ止めを全てセットします。

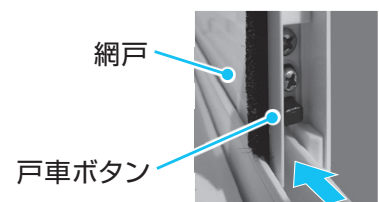
※引違い窓、片引き窓、両袖片引き窓（上端部はずれ止め）→P.242

※両袖片引き窓（上部はずれ止め）→P.245

5 脱輪防止機構をセットする

戸車ボタンを押します。

※脱輪防止機構がセットされます



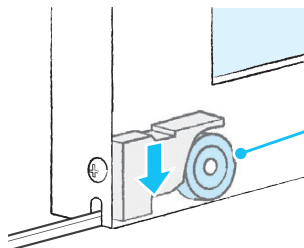
戸車とは

網戸の下両端（内部）にある車輪状の部品で、戸車を調整すると網戸の高さが変わり、傾きを調整することができます。網戸がピッタリ閉まらないときは、戸車を調整してください。

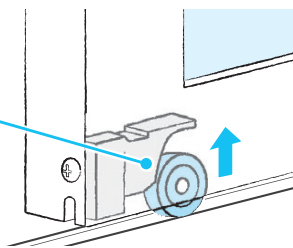
ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

網戸が下がった状態



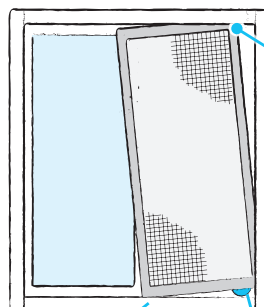
網戸が上がった状態



戸車

※戸車の形状は商品によって多少異なります。

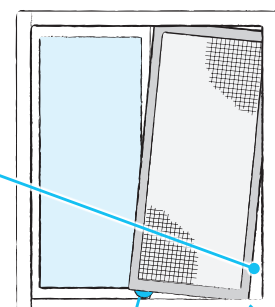
上にすき間がある場合



網戸を上げる

網戸を下げる

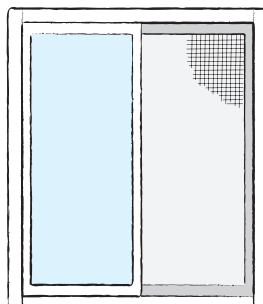
下にすき間がある場合



網戸を下げる

網戸を上げる

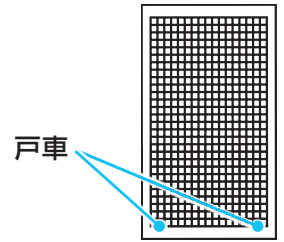
すき間



ピッタリ!!

戸車の調整方法

網戸を閉めてもピッタリ閉まらないときは、戸車を調整して網戸の傾きを直してください。



1 はずれ止めを解除する

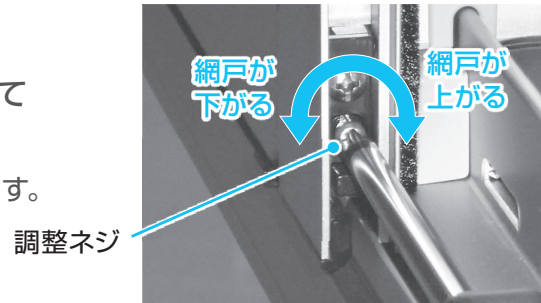
※引違い窓、片引き窓 →P.244

※両袖片引き窓 →P.246

2 戸車を調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわして戸車を調整します。

※戸車を調整すると網戸の高さが変わります。



3 はずれ止めをセットする

※引違い窓、片引き窓 →P.242

※両袖片引き窓 →P.245

4 網戸がはずれないことを確認する

網戸を持ち上げながら左右にゆすり、網戸がレールからはずれないことを確認します。